

# NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報

第95号(201706)

発行 竹田 幸男



第8回ビデオ作品発表会  
佐伯さん「私の見た公園の秋」より



## 例会の窓

### ■平成29年5月例会

日時：5月10日(水) 13:30～

場所：市民活動センター4F こども部屋

出席者：新井 小笠原 佐伯 妹尾 竹田 谷 田淵 吉岡地区委員

欠席者：天野(50音順・敬称略)

## 例会次第

(1) 会報随想筆者 天野さん

### 2. 協議・連絡事項

(1) 今年の第1回撮影会

- ・日時：5月25日（木）9時50分
- ・集合場所：JR高槻駅中央改札口前（階上）
- ・行き先：高槻 今城塚古墳公園・今城塚古代歴史観（無料）昼食：各自持参

(2) 7月23日（日）に合同例会を行いたい。

- ・大阪アマチュア映像祭出品作を決定

(3) 11月の市民文化祭出品作品は9月例会提出。

(4) 第11階寝屋川映像フェスティバルは来年5月予定

- ・今回からは著作権規制 今年中に作品完成のこと。

(5) プレミア研究会（仮称）の進め方

- ・窓口は佐伯さんで6月以降で日程を決め、第1回目は竹田さんが講師として講義を行い、以後は自主学习に移る。

### 3. 映写・研究発表

会員持参作品の映写

(1) 新井さん 「思い出の摂津峡」 7分

- ・撮影会のサンプルストーリーを基本にされた作品  
前半と同じような密度で後半もナレーションを入れるといい。
- ・2人が歩く場面は想像上のシーンだから、現実とは違うことを表現するために、たとえば映像の周辺を、もっとぼかすなどの工夫をされてはどうか。

(2) 小笠原さん

「笠岡諸島」

「笠岡諸島フェリー（神島）」

「神島秋祭り」カプトガニ博物館

「懐かしいふるさとの風景『神島（こうのしま）』」

- ・これらは本人の撮影では無くダウンロードされた映像であるとのこと。小笠原さんが生まれ育った所であり、それを説明してもらいながらみさせてもらった。

(3) 妹尾さん 「ニュージーランド 南島の最北端（イルカ達）」

- ・自然界を遊泳するイルカがかわいかった。全編BGMが続いていたがイルカの声、とテロップのある場面ではBGMを下げて（または消して）その声を聞かせてほしかった。

### 4. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等

- ・佐伯さんのパソコンの問題解決  
市民活動センター4Fこども部屋で、今日午前自主研修された。



## 我が家にも やっと

## 4Kテレビがやってきた！

世代交代をさせることになった4つの理由

天 野 忠 一

テレビの世界で4Kテレビという言葉をよく聞きますが、我が家にもやっとその4Kテレビ（58型）がやってきました。先日まで2005年製36型ブラウン管ハイビジョンテレビが居場所を確保していたのですが、ついにその場を新顔に譲ることとなり、現在は圧倒的な存在感を見せつけられているところです。

今まで愛用していた36型ハイビジョンテレビは、故障もせず働いてくれていましたが、壊れた時には時代が要求する4Kテレビと以前から考えていました。（買い替え時は十分現役）

私のテレビの視聴スタイルは、番組表でお気に入りを探す。開始時間が来れば電源ON。もしくはレコーダーに録画、そしてあとから見る。今後もこのスタイルを続けるならば、今までのテレビで特に不満というものはありませんでした。

しかし、量販店に顔を出した時、所狭しと並んだ各社の4Kテレビの映像が否応無しに目に入って来ます。その美しい映像を見せつけられる時、カタログでスペックを確認した時、我が家のテレビとは圧倒的に差がある事を知りますと、『この差をどう判断すべきなのか！』という日がしばらく続いていました。

一方現在発売されている4Kテレビは、4K映像を再生することは可能ですが、来年放送予定の4K放送を受信出来るチューナーが搭載されておらず、本格的な4K映像を楽しむためには、別途チューナーが必要となります。まだ放送がされていないこの時、しかも来年には本格的4Kテレビが発売されるであろうこの時期に、本当に4K対応テレビが我が家に必要なのかと考え悩みましたが、最終的には下記4つの理由から買い替えるべきではないかと判断をしました。

### ＊ ＊4Kについての豆知識＊ ＊

4Kテレビは、解像度が3840×2160で829万画素（3840が約4000なので4K）、フルハイビジョンは解像度が1920×1080で207万画素（1920が約2000なので2K）です。先に少し触れましたが、総務省の資料では、平成30年12月から実用放送が開始され、衛星基幹放送による超高精細度テレビジョン放送（4K・8K放送）を現在市販されている4K対応テレビで視聴するには、実用放送開始にあわせて発売が予定される外付けチューナー等の機器が別途必要となります。と発表

されています。

来年12月からBSと110度CSで  
(2018年)  
4K・8K本放送が始まります!

**〈BSで4K・8K本放送を行う放送事業者〉\***

4K	NHK (株)ビーエス朝日 (株)BSジャパン (株)BS-TBS	(株)BS日本 (株)ビーエスフジ	SCサテライト放送(株) (株)QVCサテライト (株)東北新社 (株)WOWOW
8K	NHK		

**〈110度CSで4K本放送を行う放送事業者〉**

4K	(株)スカパー・エンターテイメント(チャンネル数:8)
----	-----------------------------



総務省 2017.3.1発表資料より

## 4つの理由

### ① 手持ちHDテレビは36型で約80kg 移動が困難（新TVは58型で31kg）

我が家では、現在部屋の構造上テレビの真上にエアコンを設置しています。エアコンを設置したのが3年前、全自動お掃除ロボット搭載という事を信じて、3年間まったくフィルターの汚れを確認した事がありません。というより出来ませんでした。リビングでTVとエアコンの設置位置はこの場所がベストと考えた時、奥行（60cm）重量（79.5kg）の仕様が確認を難しくして来ました。今後のメンテナンスを考えた時、TVは大きくても家族である程度移動が可能ということが絶対条件であると判断したことが、買い替える理由の一つになりました。ちなみにお掃除ロボット機能の効果はといいますと、よく使用している割にはますます美しく維持されていましたので一安心。

### ② 元気な時に、美しい映像でTVを楽しみたい

手持ちテレビが故障してからと考えるといつになるか分からない。一方、健康面を考えた時、歳をとるに比例して体調は少しずつ下降線をたどっている感じがしてなりません。現実にドック検診では色々と指摘される項目が増えており、要検査の紹介状でそれなりの治療が続いています。また、「この年齢になれば、何が起こってもおかしくない」と言われれば、そうかも知れません。それならば、「先に延ばすことで、あの美しい映像でテレビを楽しめない日がいつ来るかも知れない」と、あまりよくない事を考えだしますと躊躇する事なく今ではないかと判断したわけです。

### ③ amazonプライム加入で 視聴コンテンツが一気に増えた

ノートPC（16.5型）に接続する23型の大型ディスプレイで映画を見る機会がありました。その映画は、年会費3900円税込で、『映画、ドラマ、オリジナル作品見放題』というキャッチコピーに惹かれ会員となったamazonプライムビデオの一作でした。なかなか画像も美しく中には4K ultra HDというコンテンツ（4Kリ

マスターかも知れない)もあり、現在4K放送が無くてもこれなら大画面で4Kの映画、ドラマ、BGVが楽しめるではないか。地上デジタルとBSデジタルにプラスしてamazonプライムビデオで一気に楽しむコンテンツが増えたということも大きな要因です。

※amazon以外にも4Kコンテンツ含む映画等を有料でネット配信しているところがあります。

NETFLIX ひかりTV 4K dTV acTVila 4K 他

#### ④ インターネット環境は 無線ルーターと通信速度 1 Gbpsに対応

今までのインターネット環境はルーターとPCはケーブル接続していましたが、今回WiFi環境にしましたのでPC周辺は実にすっきりした感じです。また本来の目的、Net配信の動画（amazonプライムビデオ他）を見るには高速インターネット環境が必須ではないかと思い、100Mbpsからハイスピード通信が期待される1Gbpsへと環境をすでに整備していました。

現手持ちテレビについては、有料番組や視聴者参加番組も楽しむことは可能でしたが、WiFi環境を持たず電話回線（設置場所的に無理そして接続しても今では時代遅れ）に接続しなければなりませんでしたが、新テレビではインターネット回線をフルに活用できる機能を持ち、多種多様なコンテンツを楽しむ事ができるという事がわかりましたので、上記環境がすでに確立している現在なら、テレビの性能を十分に発揮させることが出来るのではと判断し買い替えすることにしました。

理由づけに少し？と思われる面もありますが、今は買い替えて良かったというのが本音です。

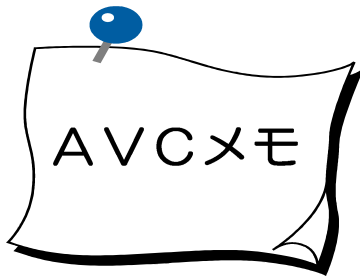
地デジなどの現行放送や、ブルーレイディスクのハイビジョン映像も、超解像技術により高画質化処理が行われ極めて美しく映像を再現、またインターネット配信の4K映像、大画面一杯に映し出される映像を見る時、（特に自然を撮った広角・またズームアップ映像）“思わず息を呑む美しさ”という言葉に相応しい映像を見せてくれます。

さらに大画面にプラスして、マルチチャンネル音声で見る、聴く、スポーツ・映画・ドラマ・環境ビデオは、今まで私が体験したことのない世界が家庭で再現されています。

最後に、もう少し自由な時間を得ることが出来れば、

この大型4Kテレビの存在は、私の残りの人生のライフワークを大きく変えてくれることになるのではと思っているところです。





## CC・BCCとは

竹田 幸男

今回は「全員に返信」について書きました。そのついでに表題の言葉について、書いてみようと思います。

「CC」とは、「Carbon Copy (カーボンコピー)」の略で、直訳すれば「炭素のコピー」となります。以前はよく使われた「カーボン紙」という事務用品がありまして、紙の片面、または両面にカーボンなどを主成分とした黒・青または赤色などの層が塗布された紙であって、複写をしたいときに、このカーボン紙を2枚の紙の間に挟んで、上からボールペンなどで書くと、書いた内容が2枚目の紙に写ります。その現象がカーボン・コピーという言葉に残りました。

今はコピー機が発達したので、残っている用途としては、領収書を発行するときに手元控えを取るために使われる程度となり、今、多く使われているのは紙自体に加工して、色はついていないが1枚目の裏と2枚目の表とが圧接されることにより2枚目の表面に化学的に着色されるような用紙が、届け書、とか契約書などに使われています。

以前は、良くあった現象に、「メールアドレスを変更しました」というメールを受け取ったとき、宛先の欄に数十人のメールアドレスが羅列されていた事があります。知っている人の名も、全く知らない人の名も、そこに連ねてありました。このメールをくれた人は、こんな人とも友達であったのだ、と改めて気が付く一幕もありました。そんなときに、通知をもらったことへの返信に「あなたの交友関係をすべて拝見しました」と皮肉交じりに書いたことがあります。このやり方は自身の交友関係をばらすだけでは無く、さらにはそこに記載された人にもプライバシー上の迷惑を掛ける恐れもあります。また、このようにして、全く関係ない人にメールアドレスを拡散させるので、拡散先のパソコンがウイルスの被害を受けたとき、そのアドレスも悪用されてしまう恐れもあります。

このような場合に有効なのが「BCC」です。

「BCC」とは「Blind Carbon Copy (ブラインド・カーボン・コピー・・・目隠しされた炭素のコピー)」の略で、これはメール独特の用語であって、BCCの欄に入力されたアドレスは、メールを受け取った人は、何も見ることはできません。自分以外の誰にこのメールが送られたか、全く知ることが出来ません。だから交友関係を暴露する恐れも無く、受け取った人のプライバシーも保護されます。多数の人に同じ内容を、それも、他の誰にこのメールが行っているのかを知らせることが無いのが特徴であり、便利なところ です。「CC」と「BCC」、そして前回に書いた、「全員に返信」をうまく使いこなして、プライバシーを守りながら、コミュニケーションを適切に取っていく能力を高めていきましょう。 ■